

---

# スマ村のみんなの生活

スマッシュ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

スマ村のみんなの生活

### 【ZPDF】

Z8261Y

### 【作者名】

スマッシュ

### 【あらすじ】

今回のみんなはクリスマスでマリオパーティ2・5・6・7・8・

DSのミニゲームで自分自身を使って遊んでいます！

ミニゲームは・・・・・いろいろです！

その前のみんなは行く準備 プロローグ（前書き）

さて、かききれるかな？

## やの前のみんなは行く準備 プロローグ

キノコ王国

こんなこん・・・

????「マリオさんとルイージさんお手紙で~す」

マリオ「おおパレッタ!苦労さんどこからのお手紙?」

パレッタ「えーと、この世界のマスター・ハンドさんからです」

マリオ「また、あいつか・・・」

ルイージ「そうだね・・・」

????「こんなちわ~」

マリオ「あれ?ピーチ姫?何しているんですか?」

ピーチ「私にもその手紙と同じ内容よ。もしかしてまだ、読んでない?」

マリオ「うううん・・・」

ピーチ「読んでみれば?」

ルイージ「兄さん読んでみよ~」

封筒の中にはこんな手紙があつた。

マリオ殿へ

マリオさん、あなたはスマッシュ・ショーブラザーズ一員なので今から至急  
この世界へ来てください。

この手紙を持って来てください。では、後ほど。

マリオ「ふーん」

ルイージ「行くよ兄さん」

マリオ「ああ そうだな!」

ピーチ「うふふふふ」

ジャングル

????「つほ~~」

????「つさやわやわやわや」

「ニツムサツノヨリ一ルナリトヤーである。」

ドンキー「うは～～（おい、ディディー）の手紙なんだ？」

「元々元々」の意味を拡張（これはマスター・ハンチからの用語だよ）

「うして一匹は走つて行きました。

卷之三

縁ヨツシー「ねえこれなんだと思つ?」

赤ヨツシ一えーとなんだろ?」

れを持つて僕は出かけるから留守番していくね」

フツ  
成

カメツケ「クッパさま城にこんな手紙が……」

卷之三

「おつかれ、よし!」

カメリック「どうかされましたか？クッパ様？」

## カメリツク「ごつ5年ですか?」

ケツハ一そりたれやんと籠帝じと五郎一

そしてワリオは

？？？——ワリオ……手綱だ世……」

ワルイージ「ぐぎや！」

ワリオ「フムフムよしワルイージちょっと行ってくる」

ワルイージ「んが? なんだ? ワリオどこか行くのか?」

ワリオ「ああちょっとな」

ワルイージ「俺も連れてつてくれ~」

ワリオ「駄目だぜ。じゃ あな~」

ワリオはバイクを取り出し走っていった。

ハイラル王国（城にて）

？？？「オ~ イゼルダ~」

ゼルダ「あらリンクどうしました?」

リンク「こんな手紙が届いたんだよ。ゼルダも届いてる?」

ゼルダ「うんあるよしかも2つ・・・」

リンク「なぜ?」

ゼルダ「シークもだつて」

リンク「そうだつたね」

？？？「俺も誘われたぜ! リンク!」

リンク「お前はガノンドロフ!」

ガノンドロフ「ふんまたお前とやれるとは久しぶりだな」

？？？「ふふふふ・・・」

リンク・ガノンドロフ「いつの間になつていたんだ、シーク?」

シーク「面白すぎてマスクで隠しているんだよ。以降じゃないか  
この世界の所に!」

シークは急にゼルダに戻った

ゼルダ「じゃあ行きましょう」

リンクたちは馬に乗つて行きました。

もつひとつつの国

？？？「ちゃんと行かしてくれるかな?」

？？？「何しているんだリンク?」

リンク（トウーンリンク）「うわあ、驚いたよ、テトラ！」  
テトラ「いや、さっきから」ソして、いたからなんだろうと思つたからな」

トウーン「いやせつあにこんな手紙が届いて・・・」  
テトラ「なら行けばいいじゃないか！」

トウーン「ありがと！」

トウーンリンクは船で行きました。

### スター・シップ内部

？？？「何かしら？いきなりでたこの手紙は？」

10分間後

サムス「ふーん。じゃあ行こうかな」

### エンジンランド

？？？「わつ いきなり紙が飛んできた！」

ピット「えーとなになに・・・よしじやあ行こう！」

### どこの山

？？？「これ何、ナナ？」

ナナ「手紙でしょ、ポポ」

ポポ「うん そうだけどまあ一様読みでみよう・・・」

ナナ「じゃあ行きましょう！」

ポポ「そうだね！」

二人は山を降りて行きました。

### 研究室

ロボット「エート、ノノブンハますたーはんどカラテスネフムフム・  
・・デハイキマショウ」

プロブランド

？？？「ぼよぼよ（ルンルン）」

？？？「おい、カービィ！」

カービィ「ぼよ、ぼよ？（なに、メタナイト？）」

メタナイト「お前宛に手紙だ。しかし私にも届いているんだがな」

カービィ「ぼよ・・・ぼよつ！（ふーん・・・よし、行こう！）」

メタナイト「その意氣だカービィ！」

？？？「待てゾイ！」

メタナイト「デデデ陛下もですか！」

デデデ「そうゾイ！我輩も行くゾイ！」

ホコタテ星のホコタテ運送会社

？？？「オリマー先輩手紙ですよ」

オリマー「ありがとうございますルーイ君・・・ふーん」

ルーイ「どうしました？先輩？」

オリマー「ちょっと社長に5年の休暇をもらえないか聞いてくる  
ルーイ」5年もそんなに休暇もらえないと思いますよ

5分後

オリマー「もらえた・・・」

ルーイ「なぜ！？（すげーー）」

オリマー「知らないよ

フォックスとウルフとファルコ

フォックス「よし、ん？なんだメールか？誰からだろ？？」

ファルコ「おいフォックス、お前のところにもきたのか」

ピコーンピコーン

フォックス「ムツ！」

ファルコ「奴のおでましか・・・」

ウルフ「だーれが奴だつて？ムツなんだ、これは・・・」

フォックス「まさか！」

ファルコ「そのまさかだろうな

ウルフ「フォックスまさかお前も・・・」

フォックス「ああそうだとも」

ウルフ「・・・」

とあるレース場

？？？「うお～～～」

？？？「むお～～～」

2つの車がぶつかりあつてていた

？？？「今日こそ負けないぞ、ファルコン！」

ファルコン「ほう勝つ自信があるのか、しかしお前の嫌いなカーブ  
があるぞ」

？？？「ぐわ～～～」ドカ～～～ン

ファルコン「よし勝つた！」

？？？「お～いファルコン手紙だぞ～」

ファルコン「おおさんきゅうなになに・・・ほうせつか、すまんが  
俺一時レースができなくなる用事ができたすまんな」

？？？「そうなの？なら仕方がないや

ファルコン「行つてくるぜー！」

ポケモンギルド

ピカチュウ「へー」

ポッチャママ「どうじたの」

ピカチュウ「ちよつと親方様に聞いてくることができたから聞いて  
くる

10分後

ピカチュウ「やつたーー」

ポッチャママ「どうしたの？」

ピカチュウ「今日から5年間違う世界に行つてくると言つたら・・・

ブクリン「行つてきなよ・・・と言われちやつたよ

ポッチャママ「じゃあなぜ10分かかるのさ？」

ピカチュウ「……………」

ポッチャマ「言えないのか……」

ピカチュウ「まあ、僕は行く準備するからね。あつやういえばルカリオとプリンも同じ」と言ってたよ

ポッチャマ「プリンはともかくなぜルカリオ……？」

ピカチュウ「まあ、目的は同じなんじゃない？まあ、いいやいつてきま～す」

ポッチャマ「行つてらっしゃい……」

マサラタウン

ポケモントレーナー（レッド）「よし、またこいつらを使えるなんて久しぶりだな」

オーキド博士「おおレッド君もつ行く準備が出来とるのかね早いの」

レッド「あつ博士！はい今日のつり出発するので」

オーキド博士「そういうそくかい、では気お付けて行くのだぞ！」

レッド「はいっ、行つてきます！」

アカネイア大陸の城

？？？「あの……マルス？」

マルス「なに？今行く用意しているからそこの用件を書つて」

？？？「何の用意をしていらっしゃるのですか？」

マルス「何かつて5年間違う世界の仲間たちと暮らすんだって」

？？？「そうですか……では、行つてらっしゃい……」

マルス「うん、行つてくる」

クロミア王国にあるグレイル傭兵团基地

？？？「よしこれで、いいな」

？？？「お兄ちゃん何しているの」

アイク「ん？ミストか？」

ミスト「いつたい何しているの」

アイク「いや、どうしたらこのラグネルが入るか試しててんだが  
入らないだから、手で持つていくよ」

ミスト「いつたいどこへ行くのよ」

アイク「前俺がいなかつた日に行つていたところだ」

ミスト「ふーん、何か食べ物ほしい? 遠いんでしょ? おにぎり作つ  
てあげるからまつてて」

アイク「分かった」

オネット

???「ママ僕また行きたい場所があるから行つていい?」

お母さん「いつまでいるの、ネス?」

ネス「5年間・・・」

お母さん「5年間! ? まあいいわ行つてきなさい」

ネス「ありがとママ」

ノーウェア島タツマイリ村

???「ねえ父さん行つてきてもいいかな?」

フリンクト「そうだなあ、ヒナワにでも聞いてみるリュカ」

リュカ「お母さんに聞いてもいいな」

フリンクト「仕方がない、行つてこい」

リュカ「やつたーありがとう。あつでもじうじょうくベニモはダス  
ターに返したしな」

フリンクト「また借りればいいじゃないか

リュカ「うんそうだね」

平面世界

???「ぴぴぴぴぴ(さつそく)行こう」

即終了!

## シャドー モセス島

？？？「なんだ？いきなり無線が・・・」  
？？？「スネーク！マスター・ハンドから手紙がきてるぞ！」

スネーク「ふむ、そうか、今戻る！」

ソニックたちが住んでいる世界

？？？「お～いソニック～」

ソニック「Whatなんだい、テイルズ？butいまは忙しいんだ  
！」

テイルズ「ソニック探したよもつこんなとこ今までこるし」

ソニック「用がないなら行っちゃうぜ」

テイルズ「なぜ勝手に行くの？」

ソニック「Lookこれを見な

テイルズ「へ～そつなんだじやあ行つてりつしゃい

ソニック「行つてくるぜ！」

その前のみんなは行く準備 プロローグ（後書き）

長すぎた！

大変だ！

この先が思いやられる

マリオ「みんないるか?」（前書き）

また、大量に書くのかそれとも少なく書くかそれだけだ……  
ルイージ「誰の真似?」  
スマッシュユ「誰でもない……」

マリオ「みんないるか?」

この世界・・・それは、世界中の人気キャラクターが集まる、スマッシュ・シーウープラザーズの本拠地でもある場所だ。

そこに・・・

マリオ「ヤッホウ!」

ルイージ「イエイ!」

ピーチ「ちょっと待つてよ~」

マリオ「遅いですよ」

ルイージ「もうみんな来ているよ」

マリオ「オ~イ、みんな!」

リンク「あつマリオさん」

フォックス「おせーぞ!」

マリオ「超有名人は最後に来るもんだ!」

全員「・・・」

マリオ「あつ凍りついちゃつた」

???「みんなよくこれたな」

サムス「あつこの声は」

ファルコン「あいつだな」

ネス「うん、あいつだよ」

???「あいつ呼ばわりするなよ!」

リュカ「でつ、僕たちをまた呼んで何するの?マスター?」

マスター・ハンド「うむ、今日からお前達はスマ村に住んでもらう!」

全員「・・・」

マスター・ハンド「スマ村でただ暮らしてもらつだけだが、大家族みたいでいいだろ!」

ルイージ「まあ、いいんだけど・・・」

マスター・ハンド「実はここに5人の元ファイターがいるんだが・・・

「

マルス「あれは！」

？？？「やあ、マルスさん元気でしたか？ロイです！」

？？？「あつピカチュウ！久しぶり、覚えてる？私、ピチューだよ

？？？「ふん！久しぶりだな、現スマッシュユーブラザーズよ。ミコウ

ツーだ」

？？？「あつ！大人の僕！久しぶり！ヤングリンクだよ」

？？？「ムツ！昔の俺がちゃんといるな元気にしていたか？ロイ

マリオだ」

マルス「ロイ・・・」

ピカチュウ「ピチュー・・・」

ルカリオ「ミユウツー・・・」

リンク「わー、これでとうとう3人になつてしまつたよ

マリオ「よつ、Dr・マリオ！」

マスター・ハンド「みんな久しぶりだろ！驚いただろ？」

？？？「おい、マスター何しているんだ？」

マスター「あつ、クレイジー！」

クレイジー「あつ、久しぶりだな・・・みんなあまり変わつてない  
な・・・」

マリオ「なぜ、スマ村に住まなければいけないんだ？」

マスター「暇だから」

全員「おいつ！」

マスター「まあいい、お前達さつとスマ村に行け！」

マリオ「はいはい・・・」

マリオ「みんないるか?」（後書き）

やつとテスト終わつたぞ！  
あとは帰つてくるだけだ！

テスト何点かな？

マリオ「テストのこと気にしているのか・・・」  
カービィ「作者のことだから点数悪いよ」  
スマッシュ「失礼な！今日は案外答えたんだぞ！」

ルイージ「へへへ」

スマッシュ「なんだよ～～」（・・・・・）

そんなわけで大変だ！

## 到着と家族分け（前書き）

マツオ「やつと家に着くよ」  
ルイージ「ほんとうだね」

## 到着と家族分け

とうとうスマ村へやつてこれたファイター達

当たり前のように役場へ行く

役員「わー、こんなに来たら困ります！」

マリオ「住民票ください」

役員「住民票、どうぞ！」

マリオ「ありがとうございます、えーと・・・

マリオ家 ファルコン家

オリマー家

マリオ ファルコン

オリマー サムス

ルイージ ゲーム&ウォッチ

ピーチ ロボット

Dr.マリオ リンク

ヨッシー マルス

(匹)

ワリオ アイク

ナナ ロイ

ヤングリンク

ナナ ポポ ピット

リュカ ネス カービィ

ネス ピット

ポポ ピット

リュカ ピット

ナナ ナナ ポポ

トウーンリンク

おつさん家  
ドンキー家?

メタナイト家

ソーヴケ独り暮らし  
ガリバードロウ  
ダニエル

クッパ ディディー

デ  
デ  
デ

ミユウツー  
ルカリオ

・・・ だってファルコンのところ多いな・・・ それにソニック（笑）  
ソニック「What'd you do?」

ソーツク「」の

マツオ「では、始業の挨拶へ」

ノニハシタ おーーー

「ファルコン、『ファルコン家の子供たち』といいくぞー。」

「おー」青年が家へ戻る

次回、家の搜索

## 到着と家族分け（後書き）

「 ファルコン 」「 本当に多いんじゃ ないか？」  
「 スマッシュショウ 」「 ああ、 そうだね ・・・ 」

それぞれの家にどんな暮らしがしてかを訪問（記書き）

マリオ「みんなの家を作者が訪問するだと...?」

スマッシュコ「うん、そうだよ。無理やりお邪魔をしないで」

ルイージ「ああ、いいんじゃない？兄さん」

それぞれの家でどんな暮らしをしていくかを訪問

1件目「マリオ家」

スマッシュショウ「邪魔するで～～～」

マリオ「邪魔すんななら帰つて～」

スマッシュショウ「あこよ～～・・・つて、おこー！」

ルイージ「いや、自分から言つてきたじゃないか！」

マリオ「んで、訪問しにきたのだな！？」

スマッシュショウ「これからみんながどんな生活をしていくのが楽しみですね」

ルイージ「じゃあ上がつてよー。ピーチ姫を呼ぶからー」

スマッシュショウ「うん」

マリオ「マツシーはその辺にいるナビワリオがどつか行いやがったスマッシュショウ「そつか・・・じゃあ、会つたらボロボロにしてあげるよー」

マリオ（こわーーー）「うん、そつじてね・・・」

ピーチ「おまちど～お菓子よ」

スマッシュショウ「どつもありがとつ。まだ一口しかたつてないけど今の暮らしどり？」

マリオ「案外この村は暮らしあいね」

スマッシュショウ「ルイージは？」

ルイージ「この村は他に人はあまりいないけど案外楽しいよー。」

スマッシュショウ「そうですか・・・じゃあピーチは？」

ピーチ「あら、案外この村おもしろいですよ」

スマッシュショウ「そうですかーでは、次に行くのでーーー」

マリオ「待てよー！部屋見ていかないのか？」

スマッシュショウ「それだと書くの疲れるからね」

ルイージ「どうこういとー」

スマッシュショウ「こ、いや、うひうひのうひー」

ピーチ「次ファルコン家に行くなればお土産持つて行つたら、作つてあげるから」

スマッシュ「ありがと、ハザリ。」

2件目ファルコン家

ピーンポーン

サムス「ハーア

がちゃ

スマッシュ「こんにちわ！」

ファルコン「はっはっは来たな、若者よ！」

スマッシュ「はい、家庭訪問みたいなもので来ました、それとお土産です。中に入れてくれませんか？」

ファルコン「どうぞどうぞ！ はいってはいって！」

スマッシュ「お邪魔します！」

サムス「お茶とさつきのお土産のお菓子よー！」

アイク・リンク・シーク・ゼルダ・ネス・リュカ「ハーア・・・・ロイ・マルス・ポポ・ナナ・カービィ・トゥーン・ヤンリンク「わーい！お菓子だーー！」

ばくばくばくばくばくばく

スマッシュ「やつぱり少なかつたかな？まあいいや、どうですか？」

今お暮らじょ？」

ファルコン「代表として言おう。思いつきり愉快だぞー！ はっはっはー！」

スマッシュ「そうですか！ 他に役割とか決めているのですか？」

サムス「そうねえ・・・・。シークとリンクとゼルダは特に決めてあります。他はないですね」

シーク・リンク・ゼルダ以外全員（アイク寝中）（笑）「えつー！」

？」

スマッシュ「どんな役割ですか？」

サムス「シークは料理以外のことをリンクとゼルダは料理と一緒に

作ってもらいます。特にリンクはお菓子を作ったりしますよ。」

スマッシュユ「そりですか！一回食べてみたいですね！」

リンク「どうも、ありがとうございます。ついでに、これ食べてください。」

スマッシュユ「なんだい、これは？」

リンク「それは、いちごタルトです。一生懸命作りました！」

パクツ  
スマッシュユ「うまい！」

リンク「ありがとうございます！」

スマッシュユ「ついでに僕も料理ぐらいできますよ！」

リンク・アイク・シーク・ゼルダ・ネス・リュカ・ファルコン・サ

ムス以外「すごーい！」

わいわいわいわいわいわいわいわいわい

（書くの面倒くさいなー、この家・・・）

スマッシュユ「では、ありがとうございます！」

### 3件目おっさん家

スマッシュユ「ついに来てしまった・・・！」  
が加齢臭がふんふんする場所だ・・・」

クッパ・デデデ・ガノン「誰が加齢臭だ！」

スマッシュユ「ちゃんと換気してくれよなー家ぼろくなつちやうだろ

！」

クッパ「だつてよ、デデデが「虫は嫌いゾイ！」つて言つからだ！」

デデデ「何だゾイ？悪口を言つてるゾイか？」

スマッシュユ（早くここんなところから出たい・・・）「で、今の住み

心地は？」

ガノン「まあ、いいところだ！」

スマッシュユ「そうですか、では、わよなー。」

### 4件目スネーク家

スマッシュユ「やつと、おっさん達から抜け出せた・・・今度はスネ

ーク家です  
ガラツ！

スマッシュユ「邪魔するぞー！」

スネーク「きたか！」「

フォックス「ギャグにのれよー」の馬鹿親父！「

スマッシュユ「あの～・・・」

ファルコ「いつものことさ、」うちに来な・・・」「

レッド「あつ、来ましたね！」「ま、おやつの用意をしていたんです  
！」

ピカチュウ「そうだよー僕とピカユーはレッドの手伝い！..」「

ピチュー「うん！」

スマッシュユ「そつか、手伝い頑張れよーところでウルフは？」

ファルコ「向こうにいるぜ！何してるかはわからないけどなー」

スマッシュユ「ふーん」

フォックス「行かないまつが身のためだぜ！」「

スマッシュユ「なぜ？」

フォックス「危ない物が飛んでくるからや」

スマッシュユ「・・・・・」

レッド「用意できましたよー！」

スマッシュユ「これはすごこなー」

レッド「りんごを使ったお菓子です食べてくださいー」

スマッシュユ「いただきまーす」「

もぐもぐ

スマッシュユ「うまいよー！」

レッド「どうもありがとうー！」

スマッシュユ「ところで聞くけど今の暮らしどう思つ？..」

スネーク「家族代表で言つぞ！楽しいそれだけだ！」

フォックス「本当にそれだけかこのやうつー」

スマッシュユ「彼ら仲がいいんですね・・・」

ファルコ「いつもケンカしているぜ・・・」「

ラジオ・リード

スマッシュ!! - エハモアラカヒル物語二話二話!!

5件目オリマーハ

うか?」「

ウイーン

ホラマーニー、ハリソン、モリス、アーヴィング

ロボット「奥二行ツテオイテクダサイ。後テ行クノテ」

•  
•  
•  
•

ホラマニー、おれがおれの物です。」

ロボット「ケーキヲ持ツテキマシタ、ドウゾ好キナケーキヲ取ツテ

下廿一

スマイシニーキースケーキはす  
ガムラ「つかリマシタ。デフジニ

スマッシュ、「ありがとうございます。」

オリマー「ついでに紅茶を入れてきました」

「私はあなたが始めた事がどうでか、今お住み心地はいかがですか?」

いました。楽しいです！」

スマッシュ「じゃあね！」

スマッシュ「ムツー! リオがいた! よし! ボコボコにしよう!」

ワリオ「うへ～暇だ～」

ワリオ「なんだ？」？

スマッシュ「ちょっと」「めんね～」「

ボカツ！-ドカツ！-バキッ！-ボキッ！

ワリオ「ザザザザザザザザザザザザ

スマッシュ「ふ――おっちゃん家に行つたときのストレスが発散で  
きたよ。さてここに遊びに行つたの？・・・・まあ、とりあえづマリオ  
家に届けるか！」

マリオ家 本田一回田

スマッシュ「よし来た！」

ピンポーン

マリオ「誰だ？」

スマッシュ「スマッシュです」

ガチャッ

マリオ「よつ！スマッシュ・・・わつ！ワリオが、驚いたー」（本

当にボコボコにしてる）

スマッシュ「どうぞこれおみやげです」

マリオ「お土産つて、これが？」

スマッシュ「そうだよ？どうしたの？」

マリオ「いいや何もないけど、ありがとうございます」

それぞれの家にどんな暮らしをしていくかを訪問（後書き）

スマッシュ「言つとくけど次回から後書きをスマッシュブラザーズの日記にあるから一人ずつ書いてくれよー。」

全員「えーーーーーー！」

と、いつことで次回から順番に日記を書いていきます！

## 作家家！（前書き）

マリオ「作者たちがこのスマ村へ住みつくそつだ」

全員「え~~~~~」

作者達「つるやーーい！」

作家！

スマッシュ「ちょっとじめんよ」  
役所の人「ちょっと！」  
スマッシュ「この村にいるスマッシュブリザーズ！ただちに役場まで来い！」

1分後・・・

マリオ「なんだ？スマッシュ？」

スマッシュ「今日から作者達がここに住むぞ！」

全員「・・・・・・」

しばらく沈黙・・・

全員「え――――――！」

2分後

スマッシュ「やつそく来たな、おーい！」

「こんにちわ！」

「やあ」

「やつと、ここに来れたよ」

「でも、タクシー5台は・・・」

「まあ、いいんじやない」

「疲れたなー」

「あつ！みんな、おーい！」

「みんな、遅刻もせず早いね」

「男ばつか・・・」

「早く家行きたい・・・」

スマッシュ「みんな、来てるねーこれから作者家すなわち作者の家にいるからね。まあ、名前を覚えてくれ！」

しら「僕はしらよろしくね！ついでに僕は『スマブラOO中』を書

いじめ防止法

ryouki「僕の名前はryoukiだよ。僕は『スマブラメンバー』の新しい家?』を書いてます」

バーの新しい家?』を書いてます』  
パルポン「俺はパルポンだ。俺は『

ほーき雲「僕はほーき雲です！僕が書いてる小説は『スマブラ』など書いています」「

ギルバー・ト・俺はギルバー・ト・元ニランタルと言ひ名前です 書いてるのは『俺キャラ×スマブラ×作者さんオールスターズ 逃走中』を書いてるぜ！」

夢幻　「俺の名前は夢幻  
だ！今書いてる小説は『スマッシュハン

死神魔姫「俺は死神魔姫だよ。俺は『大乱逃走中』を書いてるからな！」

瑞希 優羅、私は瑞希 優羅です。書いてる小説は『スマブラで逃走中やつちやうよー』を書いてます！」

で逃走中』を書いてゐるよ」

スマッシュ二以上」これが作者家に住む人達だよ！」

スマッショウ「僕が頑張つて借金を払つたんだよ！だから今は学校の校舎と同じくらいだよ」

全員 - えー！？

「マーベリックの間に！？」

てたから

リンク「でも、4日でそれは早すぎではないですか?」

作者 濑尾さる「マリオ「どんだけ貰つてゐるんだー!」」

スマッシュュ「でも今貯金してるからね。家にあつたら狭くなる」「

ルイージ「そうだよね~」

スマッシュュ「じゃあ作者さん達以外解散!」

スマッシュュ「じゃあ、家に行こう!」

作者達「そうだね・・・(金すいにな...)」

次回、作者家のなか

作家家！（後書き）

今日、僕のかけてる眼鏡が崩壊したよ・・・  
マリオ「何してそうなったんだよ！」  
スマッシュユ「拭くもので拭いたら壊れた・・・」  
マリオ「だから眼鏡変わってるんだな！」  
スマッシュユ「そうだよ！」

作者家の中（前書き）

すみません・・・龍斗さん書くの忘れてました！  
田記されていた・・・今回から書かせる！

スマッシュ「着いたよー。」

作者達「ここか！」

見たところ案外すごい豪邸になっていた

スマッシュ「頑張ったんだぞ！」

作者達「いや、頑張ってないだろ！」

スマッシュ「まあ、そんなことはないや、入って入って！」

中

しら「すごいですね！」

「youki」「そうですね、思つたより広いよ」

バルポン「ここに持つてるもの置いていいか？」

スマッシュ「置いていいよ！ もう、僕達の家なんだから

竜斗「部屋はいくつあるんですか？」

スマッシュ「ざつと20部屋ぐらいかな？」

ギルバート「多！」

死神魔姫「これからここで暮らすんですね！」

夢幻「じゃあスマブラの人たちの所へも遊びに行つてもいいのかな？」

スマッシュ「遊びに行つてもいいですよー。」

ほーき雲「わーいわーい！」

ゆうたん「でもどうするの？」

スマッシュ「とにかく解散！」

ゆうたん「僕はこの家に残るよ」

瑞希 優羅「私は今、店に行つて買い物していくの。」

スマッシュ「これカタログ」

瑞希 優羅「ありがと」

しら「じゃあ、服買おう。」

「僕も買つよ！」

スマッシュ「僕も買おうかな?」

店

店員「はい、わかりました！」

スマッシュロードの體子欲しいー買おうー。

「あ、あじかむ！」わし拂した！」

「youki」じやあ全部

しら・スマツ・ショ・店員一えづ！？」

店のト

しら・スマッシュ「重いよ」

ryouki.「」のん・・・」

8

「ううたん」「わっ...よへ、」んな顔つてきましたねー。」

ryouki 「まあね」

「……」瞬間、彼の顔が真っ赤になってしまった。

## 4人「お帰り！」

スマッシュ「何を店に買いに行つたの?」

瑞希 優羅一 家具を大量予約してきたの。これメモ」

七

## 請求書

ベット10個  
机(大)3個

(小) 5 個

198000ベル  
59600ベル

椅子20個	100000ベル
クローゼット10個	99000ベル
ランプ20個	50000ベル
絵20個	100000ベル
冷蔵庫1個	3980ベル
キッキン1個	6980ベル
コップ10個	10000ベル
皿30枚	19800ベル
なべ5個	5000ベル
フライパン2個	2960ベル
はにわ10個	13000ベル
化石10体	10000ベル
落とし穴の種100000個	100000ベル
その他30種類	1000000000ベル
服代(帽子も)	10000000000ベル
4人「おもいつきり書いてるな・・・	100000000000ベル
しら(しかも、はにわ)	1000000000000ベル
「yōuki(おつ落とし穴の種100000個・・・しかも1個1ベル・・・)	10001768320ベル
ゆうたん(買いすぎだよ・・・)	1000000000000ベル
スマッシュ(あと、979998231680ベルか・・・まだま	10000000000000ベル
だあるね!)	100000000000000ベル
瑞希 優羅「買いましたかな?」	1000000000000000ベル
4人「あははははは(焦)」	10000000000000000ベル

作家の中（後書き）

今日の日記 書いた人 マリオ

今日服屋行つたら服が全て売切れになつてゐた・・・

## 届く、家具やこんな物

ピーンポーン

？？？「お届け物でーす！」

ゆうたん「何？」

瑞希 優羅「来た来た」

宅配便「御注文の品を届けにきました！」

瑞希 優羅「そこに置いといて後はこの人たちに運んでもらつから

！」

みんな「え~~~~~！」

宅配便「わかりました！では！」

スマッシュ「や、わたくしが運ぼう……」

しり「うん……そうだね……」

ryouki「重！」

竜斗「いっぱい入ってるね……」

ほ一き雲「これを2階に運ぶの~」

瑞希 優羅「そうだよ」

みんな「……」

2時間後……

ギルバート「やつと、終わつたー！」

夢幻「疲れたー！」

死神魔姫「そうだね！」

バルポン「どんだけあるんだー！」

スマッシュ「終わったからお金あげるよ

みんなは100万ベルもらつた。

みんな「ありがとう」

残り貯金99788231680ベル

死神魔姫「でも、埴輪って必要なものなのかな?」「

しら「そうだね・・・」

ギルバート「服もかなりあるね」

スマッシュユ「じゃ、欲しい服、1人10枚、持つていっていいよ  
服の数110枚

「rouki」「これとこれとこの服がいい」

ほーき雲「それとつて!」

夢幻「ほれ!」

ほーき雲「ありがとう」

ゆうたん「僕が欲しいんだ!」

パルポン「いや俺のだ!」

瑞希 優羅「みんなけんかしないで取つてね!」

30分後

スマッシュユ「よし、分けられたね」

ギルバート「なぜ、お前だけ帽子買つてるんだよ!..」

スマッシュユ「自分で買つたんだよ!」

竜斗「じゃ自分の部屋へ行こうよ!」

死神魔姫「そうだな、部屋行つて家具を置くよ!..」

スマッシュユ「だから、部屋へ解散!」

## 届く、家具やいろんな物（後書き）

今日の日記 書いた人 ルイージ

今日、僕が料理作ったのに失敗料理が出来てしまった  
間違えた！スペシャル料理を作ろうとしてたのに！

作者軍、遊びに行っちゃー！ 作者達「おーー！」

スマッシュ「今日、違う人の家に遊びに行こう。」

卷之三

ギルバート「じゃ行くぞー！」

作者達へおへ！」

手當薩「あ……」

ギルバート「誰の家に行こうか・・・俺はファルコン家!」

# バルボン「マリオ家！」

卷之三

瑞希 優羅「ファルコン家！」

夢幻「どうでもー」

アーティストの歌詞に登場する「ファンタジーランド」

死神魔姫「うん……オリ

スマツシユ「僕はフルコン家！だから

「圖書用

フアレロン家前

# ピンポン

サムス「はーし！」がちや！

カーネルアーティスト多一郎

ギルバート「じゃ まするよ！」

しらーすみませんね・・・」

中

ファルコン「なんだ？遊びにきたのか？歓迎するぞー！」

作者達「そこまで歓迎しなくても・・・」

マルス「遊びに来たの？なら、2階でゲームしようよー。」

「youki」「そうか！しよう！」

2階

ギルバート「何のカセット持つてるんだ？」

アイク「大体全部かな・・・？」

リンク「まあ、ほんどある、つとこうわけですよ

しら」「これしよう！」スマブラX『！』

ロイ「僕が出ていないゲーム・・・」

マルス「あのね・・・ロイにはこれは禁句だよ・・・

しら」「そうなの！」「めんね」

ロイ「いいよ・・・」

ゼルダ「これのほうがいいんじゃないの？」

そうゼルダが取り出したのは『3DS マリオカート7』を渡した  
マルス「これ3DS無いと駄目だよみんな！3DSとカセットある  
？」

スマッシュュ「あるよ！8個！」

アイク「丁度あるのか・・・」

リンク「さつそくやりましょう！」

「youki」「でも、人数分無いですよ・・・」

ギルバート「ルールを言つ！ルールは5位から8位になつた人は次  
の人と交代する！」

みんな「おお！」

スマッシュュ「じゃさつそくやうつ！」

スマッシュュ「僕、マリオ！」

リンク「ルイージさん」

ロイ「ヨッシー！」

ギルバード「クッパ！」

「ryouki」「じゃ、ドンキー！」

しら「僕はヘイホー！」

ゆうたん「メタルマリオにしよう！」

瑞希「優羅」「ピーチ！」

ゲームにて

3・2・1・GO！

スマッシュ「スタートダッシュだー！」

リンク「速！」

ロイ「僕もスタートダッシュだー！」

ギルバード「負けるかー！」

「ryouki」「すばやいなー！」

しら「アイテムゲット！やつたー！ラッキー！ゲットだ！」

ゆうたん「ええ！？」

しら「いけ！ゲッソー！」

瑞希「優羅」「前が見えないよー！」

スマッシュ「ジャンプ台だー！それ！」

ギルバート「オリヤー！」

現在順位

1位スマッシュ

2位ギルバート

3位しら

4位ロイ

5位「ryouki」

6位リンク

7位ゆうたん



## 作者陣、遊びに行くぞー！ 作者達「おーー」（後書き）

今日の日記 書いた人 マルス

今日、家に作者達が来た！

今回は、『マリオカート7』をしてスマッシュショさんとギルバートさんがデッドヒートになっていました！

作者軍、遊びたがへやーーー作者達「おーーー」 o-ta-ta (前書き)

リンク「今からお菓子を作りたいですか」  
ゆうたん「僕も作るよーーー」

スマッシュ「さて、『星のカービィ』Wii版』をしよう。」

カリビイ「僕の出でるケーブルだ！」

スマッシュショウ「うまい、カニマヨーがいい

マルス「僕は、デデデで」

ロイ「僕は、ワドルディ！」

スマッシュ二格闘王をしやべる。

「彼女がお母さんだが……」

スマッシュ、「普通の中ボス以外のボスは体力が多いんだって！」

「ロイ、『そ、うだつたの！？』

5分後

みんな「咲すめる・・・」

口イ一さすがにマホロア倒すの大変だよ！」

カヌカ！ みんなでカービは出来た！

スマッシュ（手で使つてゐるんかー!!）「じゃあ、カービィにして

11

ギルバードー メタ様は駄目なのか?」

「雪が降る」

# スマッシュ、「全員ボムを取つて」

口イ「取つた」

マルス「取ったよ」

ギルバート「取つたぞ！」

スマッシュュ「じゃあ、入ろう。」

スマッシュュ「マホロアに大量の爆弾を投げつけろ――――――！」

ロイ「そういうことか！」

マルス「マホロアの通常攻撃を防いでるんだね！」

ギルバート「それとダメージもでかいし！」

スマッシュュ「これなら早いだろ？」

1分後

スマッシュュ「マホロア撃破！」

ロイ「こんなに速く終わるなんて……」

マルス「チートのせいじゃない？」

リンク「お待たせしました！」

ゆうたん「お菓子できたよ！」

アイク「そうか……ぐう、ぐう」

みんな「寝た……」

スマッシュュ「おいしい！」

ギルバート「うま！」

みんな「あつ！勝手に食べてるー！」

スマッシュュ「ギルバートさんもう一回マリカフしよう。」

ギルバート「そうだな！コースはウーファイランド2！キラコー！」

スマッシュュ「そうだよね！キラリ！」

シーク「ロイあの二人何してるの？」

ロイ「マリオカート7だって今から2人だけでするって

シーク「そつか……」

3・2・1・GO！

スマッシュュ マリオ

## ギルバート クッパ

スマッシュユ「そこだ！」

ギルバート「ここだ！」

2人「ムツ！」

リンク「映像で見てみましょう！」

マリオとクッパが接戦しています

マリオとクッパが水のあるほうへ向き水の中へ飛び込んだ  
すると、出でくる位置は2ラップ目のゴール近くにでる

スマッシュユ「これを知つてたのか！」

ギルバート「そつちもか！」

スマッシュユ「仕方ないって先行かれた！」

ギルバート「お先！」

スマッシュユ「あつ！キラーだ！」

ギルバート「なに！？」

きゅーーん

ギルバート「グハッ！」

スマッシュユ「1位だ！」

ギルバート「させないぞ！サンダー！」

ドカーン！

スマッシュユ「うわっ！」

ギルバート「オリヤオリヤ！」

スマッシュユ「あと少しだ！」

ゴール・・・・・・

引き分け！

みんな「エー——ツ！」

スマッシュユ「こんな奇跡つてあるんだね・・・」

ギルバート「そうだな・・・」

作者陣、遊びたがへやーーー作者達「おーーー」**part2** (後書き)

今日の日記 **part2** ロイ

今日も本当に疲れる・・・

皆既用食見るやーー！（前書き）

マルス「本当は昨日に書きかたつたんだよね？」  
スマッシュ「そうだよ」

皆既月食見るぞー！

スマッシュ「はい」、ちょっと「めんね」

役所の人「あつ！また！」

スマッシュ！ おい！ 今から用を見るぞ！」

マーチ・オブ・ザ・ブリッジ・ガード

スマッシュ「今日は既月食がなる日だよ。」

リーリー ソレにテハ一ツアズテ麗いたテ

アイク「前回の月食は・・・11年前・・・」

ソーック「一人暮らしで出て来れなかつたんだぜ！」

リンク一覧ですか？」

リンク「じゃあ、私も！」

セリタ 作：モロゾフ

# ルイージ「僕はスペシャ

マリオ「いつも失敗料理が出来てるからな・・・」

スマツソユ「母、三云つ一あざら二

ルイージ「ありがとう！」

## 「マリオ、なぜた？」

マツオ「肉體」の

マリオ 納得した

皆既月食まで残り10分

マリオ「本當だな月が欠けてきたぞ！」

ルイージ「本當だね！料理できたよ！」

スマッシュユ「僕のおかげだね！」

リンク「こっちも出来ました！」

ゆうたん「ケーキ100種類です」（あるのか？100種類？）

ピーチ「頑張ったのよ！」

ゼルダ「特にショートケーキがね・・・」

残り1分

スマッシュユ「カウントダウンしよう！」

30秒

みんな「29・28・27・26・25・24・23・22・21・  
20・19・18・17・16・15・14・13・12・11・  
10・9・8・7・6・5・4・3・2・1・今だ！」

皆既月食になつた！

マリオ「1時間あの状態なんだな！」

スマッシュユ「そうだよ！作者は本物の皆既月食を見ているよ！」

ワリオ（おなら野郎）「うまいうまい・・・つておい！なんで俺  
がおなら野郎なんだよ！」

スマッシュユ「うるさい！いつもおなら出してるじゃないか！」

リンク「まあまあ・・・」

スマッシュユ「とこりでなんで赤かわかるか？」

ロイ「知つてるよ！地球の影で月が陰つてているんだね！」

スマッシュユ「そうだよ」

マルス「へーーーーー、ロイ、物知りだね！」

ロイ「へへへ..

スマッシュユ「さて、ケーキでも食べよう！あつそつだ！割尾はお預  
けね！」

割屋「なぜじや——しかも割屋つて書くな———  
みんな「せせせせせせせせ——」

## 皆既月食見るやー！（後書き）

今日の日記 書いた人 リンク

今日、皆既月食がおこつた！  
あんなのはじめてみました！

クリスマスをじゅうー。(繪書)

マリオ「ちよつと早いけどクリスマスパーティをするねーーー。」

## クリスマスをしよう!

ピンポンパンポン

スマッシュユ「え――――――――――と、何言おうとしたかな?」

みんな「おい!」

スマッシュユ「思い出した! みんな、広場にまた来い!」

みんな「またかよ!」

数分後

マリオ「なんだよ!」

スマッシュユ「今回もいきなりだけどクリスマスパーティーをしよう!」

ルイージ「今度はクリスマスか・・・」

リンク「料理を作ればいいんですね!」

スマッシュユ「よくわかつたな!」

リンク「パーティーのときはわかります!」

スマッシュユ「その前にツリーになる木を探さないとな! 出来るだけ大きいのを探して来い! ワリオ!」

ワリオ「なぜ、俺だけ!」

スマッシュユ「五月蠅い! また、名前変えるぞ! ワガ尾!」

ワガ尾「やめてくれ・・・わかつた・・・行つてくる・・・」

スマッシュユ「これで、木は何となるだろ!」

しら「料理担当はどうしましょう?」

スマッシュユ「ここは、料理が出来る人じゃないとね! ルイージ、ピーチ、リンク、ゼルダ、サムス、メタナイト、オリマー、ピカチュウ、レッド、ピチュー、ゆうたん、スマッシュユだ!」

「youki「他の人は?」

スマッシュユ「木に飾り付けやその他のいろいろ・・・」

「youki「わかりました!」

2時間後

ブルルルル

スマッシュユ「ワリオからだ！」ピッ！「なんだ？」

ワリオ「全長100メートルの木を見つけたぜ！人数を20人連れてきてくれ！」

スマッシュユ「わかった！今、言つから場所教えてくれ！」

ワリオ「どこかの洋館の前！」

スマッシュユ「わかった！出来るだけ力持ちのヤツベスト20人を送つてやる！ついでだけどワリオ！見つけたお前も運んで来いよ！」

その、1時間後

ワリオ「持つて來たぜ！」

20人「ヒーヒー！」

スマッシュユ「お前・・・運ばなかつたのか・・・」

ワリオ「そうだぞ！」

スマッシュユ「・・・リンク・・・ボムヘイを持つてないか？」

リンク「ありますよ？」

スマッシュユ「ワリオ・・・自分で見つけて仲間と協力しながら運んでこいと言つたぞ・・・」

ワリオ「へッ？」

スマッシュユ「なぜ、運んでこなかつたんじゃ――――」ボイツ！ボ

カーネン！

ワリオ「グヘ――――！」

5時間後・・・

スマッシュユ「料理終わつた！」

ゆうたん「ケーキも作りました！」

マリオ「こつちも飾りつけなど終わらせたぜー！」

クッパ「我輩は大変だつたのだ！」

•  
•  
•  
•  
•

「…………」

アイク「眠いが…・・・頑張つたぞ・・・」

スマッシュユ「肉があるからっていつたじやん！」

アイケーのために頑張ったのか

大清書

ギルバート「司会は、俺とメタ様にやらせてもらひつぜー！」

メタナイト一では、乾杯

卷之六

スマッシュ「ワリオは」の骨ね！

リンク「疲れたのでしょうか？寝てますね」

アイク「がつがつがつがつがつがつ・・・・・」

マリオ「3人と先ず3つ食べなさい。」

アイク「うつ！」

「マリオー、どうした!?」

みんな「

ワリオ「みんなが氣をそらしてる間に・・・」

リンクー！ みなさん！「リオが復活しますよ！」

ワリオ「捕まえたいんなら捕まえてみろ!」

## クリスマスをじょりー（後書き）

今日の日記 書いた人 アイク

今日の料理に出た肉はかなりおいしい

z · · · z · · z z z · ·

クリスマスはまだまだ、続くよー（前書き）

マリオ「今度はプレゼント交換だー！」

クリスマスはまだまだ、続くよ！

リーリー「これは田のお楽しみじゃ、ないだんな！」

マリオ「なるほど!」

卷之三

DSの「」ゲームをするぞ！」

「いや、これは簡単じゃないか！」

アーティスト感ある「レジデンス」！

メタナイト「意外と危険だが楽しいように改進させた」

しら「なんかたのしそうですね！」

「上級セミナーでもう少しでも

卷之三

「大丈夫だとは思うんだけどね・・・」

和はスヌードで  
巧藝がさへが美力  
一通りが力に才

害尾にて書くなー！」

卷之三

「やめてくれ……」

ギ川バーレー よくもメタ様にあたるギーギを横取りしたな。。。

割尾「ギャー————！」

ギルバート「おとなしくしろー！」

スマッシュュ「これからやるから出たいやつでてきてー！」

出たい人（作者合わせて）

32人

マリオ・ルイージ・ピーチ・クッパ・ドンキー・デイデイー・ヨッシー・リンク・シーク・ガノンドロフ・トウーンリンク・ピット・ロボット・カービィ・メタナイト・オリマー・フォックス・ファルコ・ファルコン・ピカチュウ・ルカリオ・マルス・アイク・ロイ・ネス・スネーク・ソニック・しら・  
ryouki・ギルバート・死神魔姫・スマッシュュ

スマッシュュ「決まったよー！今からトーナメント組むから抽選箱から1枚紙を取つてよ！」

クリスマスはまだまだ、続くよー！（後書き）

今日の日記 書いた人 ピーチ

今回の私は違う！

優勝をもらつわよ！

## マリオパーティ、ミニゲーム大会！

マリオ「よし！トーナメントをたてよう！」

スマッシュ「出る人は前回の話で書いています！勝者は2人だよ！  
決勝戦だけは1人だけだから」（他に出たかつた人はすみませんで  
した！）

リンク「早くトーナメントの結果が知りたいです！」  
ゼルダ「こうなったよ！」

初戦

1回戦目 ルイージ マルス シーク ryouki

2回戦目 ピーチ ネス ギルバート アイク

3回戦目 クッパ ドンキー ガノンドロフ ロイ

4回戦目 リンク ヨッシー ファルコ ピカチュウ

5回戦目 ピット カービィ オリマー ファルコン

6回戦目 ディディー トゥーン ロボット 死神魔姫

7回戦目 マリオ ルカリオ スネーク しら

8回戦目 メタナイト フォックス ソニック スマッシュ

スマッシュ「こうなったよ！」

ルイージ「いきなり僕のところからか・・・」

スマッシュ「言つとくけど1回戦」とにつき5試合だよ！」

マリオ「じゃあ、早くやつてよ・・・」  
スマッシュ「わかつたけどそれは次の回でー。」

## マリオパーティ、ミニゲーム大会！（後書き）

今日の日記 書いた人 ソニック  
やつと出られただぜ！

このミニゲーム大会はいただきだぜ！

# 第1回戦！

ゆうたん「じゃあ、僕が実況するよ！」

セノタ 稲モテテ!

スミダムでは川口川説明

ミニゲームの種類は総て5種類以上あります。上位2名が6・7・8・DSのミニゲームをして勝った回数が多い上位2名が上に進めるよ！負ければ下に落ち他の負けたグループと対戦だよ！

バトルのなりかたはVS4、1VS3、2VS2、デュエルバトル、

かれて戦つてもいいが、

ゆつたん「では、第1回戦田一三場者は・・・

ゆうたん「最初のミニゲームはマリオパーク2にてブカブカアイ

ルーズ「二〇〇〇年問題」――デジタル

ryouki 「頑張りますよ！」

マルスーそれほど簡単なら安心だね!!

「舞櫻玉桜」の名は、どうぞアタマにて

ミニケルム「君が君がアインント答へト」

「シーケー、ムツー、」ちに飛んできた!

ryouki わつ！ ジャンプしないと！」

マルス「こんなもの避けちゃうよ。」

20秒後

マルス わ―――づ！」

マルスマウト！

シーケンサにした・・・「

シナリオ

ルイージ「やつぱり」

シロタ 過けられん 」 ホチキン

ryouki 「タイミングはかつてジャンプ！」

ホリガリーン！

月  
光  
記  
上  
卷  
二  
五

ゆうたん「やつきの勝者はルイージと『you』なんだよ！」

ルイージ「やつたー！」

アーリー・リリースの一例は、次のように

ゼルダ「マリオパーティDSにて叩いてペンシルよ！」

ルイージ「これもまた僕の勝ちだ！」

「マリス、負にませんよ！」

ミーバーム  
リード・シルスター

ର୍ଯ୍ୟୋଦ୍ଦାତି - କୃତର୍ମମନ୍ତ୍ରମଧ୍ୟରେ କୃତର୍ମମନ୍ତ୍ରମଧ୍ୟରେ - ।

シリケート！ それそれをそれそれを！

終了！

ルイージ・・・ 45 cm

シーク・・・ 43 cm

マルス・・・ 40 cm

ryouki・・・ 44 cm

ルイージ WIN!

ゆうたん「今の勝負もルイージの勝ちだ！」

ルイージ「やつたー！」

ryouki「おいしいなあ・・・」

マルス「僕の力があまりないな・・・」

ゼルダ「次いくよ！」

ゆうたん「次のミニゲームはマリオパーティ8の1VS3の大空シ

ューティングだよ！」

ゼルダ「1人でやる人はシークよ！残りの人は3人でやります！」

ミニゲーム 大空シューティング

シーク「君達を落とすよ！」

ルイージ「怖つ！でも、頑張つて逃げ切るづー！」

マルス「たつたの30秒ですからね！」

ryouki「頑張ろう！」

スタート！

シーク「待てー！」

マルス「いきなり僕狙いか！」

ryouki「頑張れ！」

ルイージ「安心してる場合じやないよー！」

ryouki「そうだね・・・いつ流れ玉が飛んでくるかわからな  
いからね！」

パン！

マルス「1個割られた！」

シーク「逃がすか！」

パン！

マルス「わーーーっ！」

「r y o u k i 」安心してください！残り15秒ですから！」

マルス「では、必ず勝つください！」

ルイージ「r y o u k i さん危ない！」

「r y o u k i 」あつ！」

パン！

「r y o u k i 」1個割れた！」

シーク「もう1個狙うよ！」

「r y o u k i 」避ける！避ける！」

シーク「当たらないな・・・」

残り5秒

シーク「2人もいるんだ勝てるわけがない・・・」

2・1・0！

ルイージ・マルス・「r y o u k i 」WIN！

ゆうたん「今の勝利者はルイージとマルスと「r y o u k i さんです！」

ゼルダ「残り2つです！」

ゆうたん「次のミニゲームはマリオパーティー8のショイクでプシューだよ！」

ミニゲーム ショイクでプシュー

ルイージ「これ振るの大変だよ・・・」

スタート！

ルイージ「おりやおりや！」 ぶんぶん

シーク「それそれ！」 ぶんぶん

マルス「ドリヤドリヤ！」 ぶんぶん

「r y o u k i 」おりやりやりや！」 ぶんぶん

終了！

プシュー！

ルイージ「だれが高く上がつたんだ?」

ryouki  
WIN!

ゆうたん「今の勝負は『youki』さんの勝ちだよ！」

セ川タ一残レ1一たよ！」

次行こう！」

!

# 三一ケーブ お散歩ワンワン

「ハヤシ、何が『ハシ』『ハシ』『ハシ』を鳴らしてお『たま』『たま』『たま』と早  
く『ハシ』かないと突進してくるよー。」

六  
外  
傳  
上

リバシビ

ルイージ「危ない危ない・・・」

マルス「ピ――――！」

לְאַבְנָה - בְּאַבְנָה

「アーヴィング！」トカーン！

卷之三

ワンワン「ワンワンー」デデデデデデカーン！

myoku 這 - 危なかつた!!

シーケ WIN!

ゼルダ「さつきの勝者はシークです！」  
ゆうたん「これにて1回戦目の勝者2名は・・・ルイージとr y o



## 第1回戦！（後書き）

今日の日記 書いた人 シーク  
今日のルイージはかなり強かつた・・・

## 第2回戦（前書き）

ゆうたん「次の出場者は  
ピーチ ネス ギルバートさん  
だよ！」

アイク

## 第2回戦

ゆうたん「では2回戦です！今日は変えまして2VS2です！チームを変えます！」

赤チームは  
ギルバートさんとネス

青チームは  
ピーチとアイク

ゼルダ「では、マリオパーティ6の///ゲームですー///ゲームは・・大根抜き競争です！」  
ゆうたん「では、はじめてこい！」

ミニゲーム 大根抜き競争

ピーチ「まけないわよ！頑張ろうよ！アイク！」  
アイク「そうだな・・・」  
ギルバート「あっちには負けないよ！」引っ張るんだぞ…」  
ネス「はいっ！」

スタート！

ピーチ「よいしょー！よいしょー！」  
アイク「ふんっ！ふんっ！」  
ギルバート「おりやおりやー！」  
ネス「それそれー！」  
ボコン！  
終了！

ギルバート ネス WIN！

ゆうたん「いま、やつきの試合の勝者はギルバートさんとネスだよ！」

ゼルダ「次のミーティングは・・・組み立てロボットですー。」

ゆうたん「では、行ー！」

ミーティング 組み立てロボット

ネス「ロボットを組み立てるんだねー。」

ピーチ「今度こそ負けないわよー。」

アイク「眠い・・・」

ギルバート「ブロックを叩いてちゃんとしたバーツを乗せねばいいんだなー！」

スタート

ネス「それー！」ピローン ドシーン

ピーチ「やつー！」ピローン ドシーン

アイク「はーー！」ピローン ドシーン

ギルバート「どつやー！」ピローン ドシーン

ネス「オリヤーー！」ピローン ドシーン

ピーチ「それー！あーー！」カーン

アイク「ややこしいなー！それー！」ピローン ドシーン

ギルバート「あと一つだー！どつやーー！」ピローン ドシーン

終了

ギルバート ネス WIN！

ゆうたん「今のバトルも2人の勝利だー！あと一回勝つと決まるよー。」

ゼルダ「ピーチとアイクペア追いつけるでしょうか？」

ゆうたん「では、次のミーティングは・・・海沿いドライビングだよー。」

ゼルダ「では、どつやーー！」

ピーチ「岩を壊すのが大変なのよ・・・」

アイク「それなら俺のパンチで壊してやる!」

ネス「ギルバートさん・・・」

ギルバート「安心しな!俺のパンチもすごいんだぜ!」

スタート!

ピーチ・ネス「来た!」

アイク・ギルバート「これを壊せばいいんだな!どうや!」「ボカーン!

ピーチ・ネス「次の岩が来たよ!」

アイク・ギルバート「俺に任せろ!」「ドカーン!

ピーチ・ネス「次々来るよ!」

アイク「少し硬いな!」「ボカーン!

ギルバート「それ!」「ドカーン!

終了!

ギルバート・ネス WIN!

ゆうたん「これで、第2回戦を終わります!」

次回は、第3回戦

## 第2回戦（後書き）

今日の日記 書いた人 ネス

アイクとギルバートさんの破壊力は半端無いことがわかつた

### 第3回戦（前書き）

クリスマスが終わってるのにみんなはクリスマス気分！？

### 第3回戦

ゆうたん「次の対戦はマリオパーティの4人用ミニゲームです！」

ゼルダ「これは先に3勝したものか2勝以下の場合多いものが勝ちあがれます！」

ゆうたん「次の参加者はクッパ ドンキー ガノンドロフ ロイだよ！」

ゼルダ「では、やつてこましょー！」

ゆうたん「第1回は『集めて音符』だよー！」

ゼルダ「では、はじめましょー！」

ミニゲーム 集めて音符

クッパ「これは負けられないなー！」

ドンキー「うほーー負けないぞーー！」

ガノンドロフ「できるだけ頑張るぞー！」

ロイ「頭脳戦では無いな・・・」

スタート！

クッパ「どうやー！」

ドンキー「どうやー！」

ガノンドロフ「それー！」

ロイ「はあー！」

終了！

ロイ WIN！

ゆうたん「今の勝負の勝者はロイですー！」

ゼルダ「では次です！」

ゆうたん「次の勝負は『登つてタワー』のミニゲームだよー！」

ミニゲーム 登つてタワー

クッパ「これはかなり大変だな・・・」

ドンキー「すすのみだ！」

ガノンドロフ「このトゲが大変だ・・・」

ロイ「落ちても落ちた場所からスタートなんですねー。」

スタート！

クッパ「ジャンプがやりにくいでー！」

ドンキー「どりゃーー！」

ガノンドロフ「ふん！」

ロイ「やあ！」

ピューン！

クッパ「何！？」

スポット！

ドンキー「うおつー！」

ロイ「よしー！」

ガノンドロフ「よくみるよー！」

ゴール！

ロイ ガノンドロフ WIN！

ゼルダ「なんとー、ロイとガノンドロフが同時ゴールですー！」

ゆうたん「ロイは残り1勝だよー！」

ゼルダ「次は『抜け出せ！オバケ屋敷』ですー！」

ミニゲーム 抜け出せ！オバケ屋敷 スタート！

クッパ「ぐおつー！」 テレサ「ケケケケケ！」

ドンキー「ムオツー！」 ドカン！

ガノンドロフ「まだ向こうかー！」

ロイ「あの辺が危ないから・・・」

フィニッシュ！

ロイ WIN！

ゼルダ「この試合で終わってしまいました！勝者はロイとガノンドロフです！」

### 第3回戦（後書き）

今日の日記 書いた人 ガノンドロフ  
何とか勝てたぞ！

みんな「一言感想か！」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8261y/>

---

スマ村のみんなの生活

2011年12月30日22時49分発行